担当　佐藤　昌寿

【第２次　7時間目／全15時間】

（１）本時のねらい

　　　昔の亀田郷の稲作について，昔の農具の使い方や稲作の様子を調べることを通して，湿田・泥田に胸までつかる劣悪な環境の中，工夫された道具を使いながら稲作をしていたことをとらえることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　昭和20年以前の亀田郷の湿田の写真から，どのような稲作が行われていたか疑問をもち、学習課題を設定する。  （8分） | T1　佐野さんが築いた今の亀田郷の米作りを見てみましょう。しろかき，田植え，水の管理，稲刈り，稲を運び，乾燥させます。  C1　見たことあるよ。5年生がやっていたね。  T2　では，昭和20年以前の亀田郷の田んぼで，今と同じように米作りができたでしょうか？  C2　湖みたいだったよ。できないんじゃないかな。  C3　じゃあ，どんな米作りをしていたんだろう？   |  | | --- | | ＜学習課題＞  昔の亀田郷では，どのように米作りをしていたのだろう。 | | ○パワーポイントを用いて授業を進める。  ○「米作りの写真」提示し，簡単に説明する。  ○「湿田の写真」を提示する。  〇本時の学習課題を考えさせ，隣同士で発表させる。 |
| ２　昔の農具や写真を基に，どのような稲作が行われていたか調べる。  （10分） | T3　例えば，このような道具を使っていました。  C4　何のための道具なんだろう。分からないな。  T4　では，これらの道具を手掛かりに，どのような米作りが行われていたか調べてみましょう。  C5　水車で排水してから田うちをしていたんだ。  C6　じょれんは，沼や潟から泥を掘って，田んぼを作るのに使う道具なんだね。  C7　田舟は土を運んだり，稲を運んだり，いろいろなことに使われたんだね。水がたまってるから，舟が役に立つ。 | 〇写真「水車，じょれん，田舟，箱かんじき」提示。  ○「私たちの政令市新潟」で調べさせる。  ○施設への見学が可能な場合は，調べ活動を見学で行う。 |
| ３　個々が調べた内容を基に，グループで，どのような稲作が行われていたか考えをまとめる。  （17分） | T5　ではこれから，グループで話し合いをします。一人一人が調べたことを発表し合い，グループでどのような米作りかまとめ，ホワイトボードに書きましょう。  C8　水が深くて，今のような田んぼじゃないから，まず，水車で排水したり，じょれんなどの道具で田んぼを作ったりしていたんだね。  C9　水がたまってるから，田舟を使わないと道具や稲を運べないね。今ならトラックとか使うよね。  C10水がたまっている湿田や泥田に合わせて，道具を工夫して米作りをしているんだね。  T6　いろいろな考えがでましたね。では，どのような稲作が行われていたか，映像で確認してみましょう。  C11　こんな風に使うのか。でも，大変そうな作業だな。  T8　当時の人はどう思っていたのでしょう。佐野さんの思いを聞いてみましょう。  T9　また，この状況を佐野さんはこうも言っています。  C12　闘いなんだね。やっぱり大変だったんだ。 | 〇グループの数だけホワイトボードを用意する。（Ｂ４かＡ３の用紙でも代用可）  〇考えを書き終えたら黒板に貼る。  ○「映像④芦沼での農業」を視聴させる。  ○「映像⑤藤三郎や亀田郷の人々の願い」を視聴させる。  ○資料「佐野さんの言葉」 |
| ４　今日の学習のまとめをし，昔の亀田郷の稲作について振り返る。  （10分） | T10　では，まとめましょう。   |  | | --- | | ＜まとめ＞  　水の深い湿田や泥田に胸までつかり，田舟のような工夫した道具を使いながら，大変な思いをして米作りをしていた。 |   T11　では，振り返りです。大変な思いをして米作りをした亀田郷の人々はどんなことを願っていたでしょうか。今日学習したことをもとに，自分の考えを書きましょう。 | ○板書からまとめに使うキーワードを見付けさせ，その言葉を使ってまとめをする。  ○佐野さんの言葉と既習事項を関連付ける。 |